**高次脳機能障害について**

**・**私たちのイメージと一致するのは中枢起源説だと思うけど、末梢起源説の方が有力というのはやはり納得ができないなと思いました。「悲しい」より「泣く」の方が先に現れるのは全然イメージができませんでした。

**・**記憶と感情は深い関わりがあるという話でしたが確かにすごい感情が伴った場面は小学生の時の頃でも覚えているのでテスト勉強もそういうふうにしたら効率がいいのではないかと思いました。

**・**パペッツ回路は、記憶に関わる機能を多く持っているため、昔の出来事や思い出などを感情と一緒に思い出せるのは、記憶と感情が脳の同じ部位を使用しているためだったのだなと納得しました。

**・**うつ病や不安障害は手術することで治すことが出来るのでしょうか、今の自分が知る限りの治療法は投薬や環境療法のようなものだけで、手術というのは聞いたことがないのは、費用などの面で行うことが難しいからでしょうか

・偏桃体の過活動により人の鬱や不安障害といった事がわかっているなら倫理的に良くはないが行おうとすれば電気信号で人間のそれらの活動を制限したり、活発化させたりもできるのかなと思った→TMS

**・**注意障害の漫画の女の子の例を見て自分のことだと思いました。

**・**遂行機能障害についてのお話が印象に残りました。症状の内容を聞くと、当てはまっているのではないかと怖くなりました。

**・**自分達の年代でも警戒しなくてはならない機能障害もあるとの事だったので、普段の行動には気をつけようと思った。

**・**健忘症の話では記憶の欠落を埋めるためにうそをついてしまうが、それを本人は嘘だと思っていないという症状がありましたが、自分でも嘘だとわからないというのはとても怖い病気だなと感じました。

**・**作話や病識低下などその人自身に悪気がないものがあり、周りの人からの理解も得ずらくなってしまうのではないかと思いました。このような障害が見られると、1人で生活するのはもちろん、家族だけで支えるのにも限界があると思います。だからこそ、心理職の支援が必要になってくると考えました。

**・**前頭葉の役割が印象的でした。遂行機能の低下が日常生活に与える影響は大きく、計画や問題解決といった一見当たり前に思える行動が、脳の複雑な働きによって支えられていることを改めて実感しました。

**・**紹介された漫画を読んでみて、脳出血の怖さを感じた。それまでに健康だった人が事故などで脳出血を起こし、人が変わったようになるなんて怖いと思った。

**・**年を取ると切れやすくなったりわがままになるのは前頭葉や大脳辺縁系がおかしくなってしまうからなのかなと感じた。→前頭葉による抑制機能が大きく関係

**・**コルサコフ症候群はアルコール依存症がなることがあるのでアルコールの飲み過ぎには気をつけたいと思いました。

**・**前頭葉や大脳辺縁系を損傷させるのを予防する方法はあるのだろうかと思った。また、どんな要因が損傷を引き起こすのか疑問に思った。→脳血管障害がほとんど！食事と運動が大事！

**・**実際に頭で計算できなくても体が計算を覚えていた話はかなりすごいと思った

・失われた運動機能を別方法で補うことができたという話を聞き、人間の体は本当によくできていると驚きました。こういう事例を知れたら、実際に機能を失ってしまった人の希望になりそうだと思いました。

**・**みんなだれもが障害を持っている可能性があると知って怖くなりました。人間って案外もろいんだなと思ったのと、そのたくさんの障害の治し方が知りたいと思いました。→脳内の活性酸素を除去。ルリアのロマンチックサイエンス。

**その他**

・バイオフィードバックの話で、体の感受性を高める訓練と聞き、とても分かりやすかった。体内にあるものを可視化する機能の重要性を感じた。

・バイオフィードバックについてより興味が湧き、自分を最適化出来るような環境を作ってみたいなと考えました。

・（神経心理学にも）歴史があり、その歴史も学べばより記憶に残りやすくなるのかなと感じました。→エピソードに

・睡眠専用のイヤホンがあることは知らなかったので試してみたいなと思いました。

・覚えにくい分野を漫画で紹介してもらえるととても分かりやすかったです。（途中省略）1年生の時の脳と行動の授業ですごく躓いた分野だったので分かりやすく解説を聞くことができて良かったです。→学び方はいろいろある